

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2000-506179

(P2000-506179A)

(43) 公表日 平成12年5月23日 (2000.5.23)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

テーマコード (参考)

C 0 7 D 239/32

C 0 7 D 239/32

A 0 1 N 43/54

A 0 1 N 43/54

A

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全127頁)

(21) 出願番号 特願平9-532253  
 (86) (22) 出願日 平成9年3月6日 (1997.3.6)  
 (85) 翻訳文提出日 平成10年9月11日 (1998.9.11)  
 (86) 国際出願番号 PCT/EP 97/01123  
 (87) 国際公開番号 WO 97/33874  
 (87) 国際公開日 平成9年9月18日 (1997.9.18)  
 (31) 優先権主張番号 19609618.9  
 (32) 優先日 平成8年3月12日 (1996.3.12)  
 (33) 優先権主張国 ドイツ (DE)

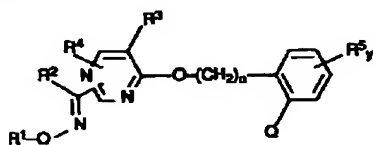
(71) 出願人 ビーエーエスエフ アクチエンゲゼルシャ  
 フト  
 ドイツ国、D-67056、ルートヴィヒス  
 ハーフェン  
 (72) 発明者 オーバードルフ、クラウス  
 ドイツ国、D-69117、ハイデルベルク、  
 ビーネンシュトラッセ、3  
 (72) 発明者 グラメノス、ヴァシリオス  
 ドイツ国、D-67063、ルートヴィヒス  
 ハーフェン、ボルズィヒシュトラッセ、5  
 (74) 代理人 弁理士 田代 喬治 (外1名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ピリミジルフェニルエーテル及びピリミジルベンジルエーテル、その製造、その製造用中間体、及びその使用方法

(57) 【要約】

式 I :



[但し、Qが、C (CO<sub>2</sub>CH<sub>3</sub>) = CHCH<sub>3</sub>、C (C O<sub>2</sub>CH<sub>3</sub>) = CHOCH<sub>3</sub>、C (CONHCH<sub>3</sub>) = CH OCH<sub>3</sub>、C (CONH<sub>2</sub>) = NOCH<sub>3</sub>、C (CONH CH<sub>3</sub>) = NOCH<sub>3</sub>又はN (OCH<sub>3</sub>) - CO<sub>2</sub>CH<sub>3</sub>を表し；nが0又は1を表し；R<sup>1</sup>が水素又は炭素原子を介して結合した有機基を表し；R<sup>2</sup>が、水素、シアノ、ハロゲン又は炭素原子、酸素原子、硫黄原子又は窒素原子を介して結合した有機基を表し；R<sup>3</sup>が、水素、ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル又はC<sub>1</sub>～C<sub>2</sub>ハロアルキルを表し；R<sup>4</sup>が、水素、シアノ、ニトロ、ハロゲン又は炭素原子、酸素原子、硫黄原子又は窒素原子を介して結合した有機基を表し；yが、0、1、2又は3を表し、且つ yが2又は3を表す場合はR<sup>5</sup>が互いに異なっている

良く；R<sup>5</sup>が、シアノ、ハロゲン、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキル、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>ハロアルキル又はC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルコキシを表す。] で表されるピリミジルフェニルエーテル又はピリミジルベンジルエーテル、又はその塩もしくはそのN-オキシド；その製造方法、その製造用中間体及びその用途。